予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細に行いました。その後、予算決算委員会の全体会において、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

9月17日（午前）　9月17日（午後）

議案第65号　令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

鈴鹿市、津市、亀山市の共同通信指令業務について問う

○消防通信施設整備費　８億8,971万8,848円

質　疑　今後の通信指令事務協議会の負担金の推移は。

答　弁　令和７年度は工事関係で約８億円となっていたが、令和８年度以降は保守点検費用などを含め、年間約5,000万円で推移する見込みである。

質　疑　三重中央消防指令センターの共同運用後のトラブルや効果は。

答　弁　運用後のトラブルはなく、安定的な運用を継続している。効果としては３点挙げられ、直近隊編成システムの活用により、市境を越えて最も近い消防、救急隊を迅速に出動させる体制が強化されたこと、通報者の位置情報の正確な把握や聴取能力の向上により、的確でスピーディーな指令判断が可能となったこと、３市の消防本部の職員が日々連携を図ることで、知識共有や業務ノウハウの吸収が進み、指令員全体のスキルアップにつながっていることである。

今後は、この体制を維持、定着させることにとどまらず、さらなる災害対応力の向上や組織のレベルアップに努める。

消防署が管理する車両の詳細は

○消防車両等整備費　2,122万7,150円

質　疑　山林火災用軽四輪車および消防広報車はどのような車両か。

答　弁　山林火災用軽四輪車は軽トラックの形状をしており、林野火災などが発生した場合に資機材を積み込み消火に当たる車両である。消防広報車はワンボックスタイプで特殊災害や水難事故などで資機材を積み込み出動する車両である。



山林火災用軽四輪車



消防広報車